

献 辞

寺本浩昭教授と亀崎澄夫教授は平成30年3月31日に定年を迎えられました。広島修道大学経済科学部はこれまでのご貢献に対しまして感謝を申し上げますとともに、『経済科学研究』第22巻第2号を「寺本浩昭教授・亀崎澄夫教授退職記念号」として刊行いたします。

寺本教授は昭和45年に広島大学政経学部を卒業後、一橋大学大学院経済学研究科に進学され博士課程単位取得後、昭和50年4月に広島修道大学商学部に「近代経済学」担当講師として赴任されました。翌昭和51年4月に助教授、平成元年4月に教授に昇任され、平成9年4月に経済科学部の設置にともない本学部教授になられ、「消費経済学」を主に担当されました。日本経済学会、中四国商経学会、日本計画行政学会、日本経済政策学会、および環境経済・政策学会に所属され、平成25年4月から平成28年3月まで日本経済政策学会の理事を務められました。寺本先生は著書1冊、学術論文24本の研究業績を残されています。

物静かで誰に対してもやさしく接するご対応は教職員や学生からも尊敬すべきお人柄と慕われておられました。また広島カープの熱烈なファンとしての一面もお持ちで、広島の地をこよなく愛しておられる先生です。

亀崎先生は昭和46年に和歌山大学経済学部を卒業後、東北大学大学院経済学研究科に進学され、同大学院博士課程単位取得後東北大学経済学部研究助手等を経られて、昭和55年4月に広島修道大学商学部に「経済原論」担当講師として赴任されました。昭和57年4月に助教授、平成3年4月に教授に昇任され、平成9年4月に経済科学部設置と同時に経済科学部「マルクス経済学」担当の教授になりました。平成8年9月から平成9年3月までカナダのヨーク大学へ、平成20年9月から平成21年2月までアメリカのニュースクール大学へ在外研究に行かれています。また平成8年には東北大学より博士の学位を授与されています。学会は中四国経済学会、経済学史学会、および経済理論学会に所属され、平成22年から平成28年まで経済理論学会の幹事を務められました。この間、著書（共著を含む）10冊、学術論文26本の業績を残されています。

私の知る限り、亀崎先生より教育に対する情熱をもった先生を見たことはありません。

私は広島修道大学に赴任してまもなく教職員のテニスサークルに入ったのですが、初心者私のために長時間球出しをしてくださったのも懐かしい思い出です。

お二人の先生ともライフワークとしての研究テーマをお持ちですのでこれからのさらなる研究の発展とご健康をお祈りいたしまして献辞とさせていただきます。長い間広島修道大学の発展にご尽力いただきありがとうございます。

2018年12月1日

経済科学部長
森 岡 一 憲